

## Mascot Server 2.4 配列データベースの手動更新

### ● はじめに

MASCOT Server でデータベースファイルの自動更新設定が正常に動作しない場合、ファイルを自身で取得し MASCOT Server の所定の位置にファイルを配置する事でデータベースファイルを更新する事ができます（この操作の事を「データベースの手動更新」と呼んでいます）。以下手動更新の具体的な方法について、NCBIInr, SwissProt のデータベース別にご説明いたします。

### ● NCBIInr 手動更新

#### □ ファイル取得

始めに以下の**3つ**のファイルを WEB ブラウザ等でダウンロードします。ダウンロード先はデスクトップにせず、C:¥temp¥download 等のフォルダを作成しそこへ直接ダウンロードするようにしてください。

【FASTA】

<ftp://ftp.ncbi.nih.gov/blast/db/FASTA/>

にある「**nr.gz**」ファイル

【taxonomy 1】

<ftp://ftp.ncbi.nih.gov/pub/taxonomy/>

にある、「**gi\_taxid\_prot.dmp.gz**」ファイル

【taxonomy 2】

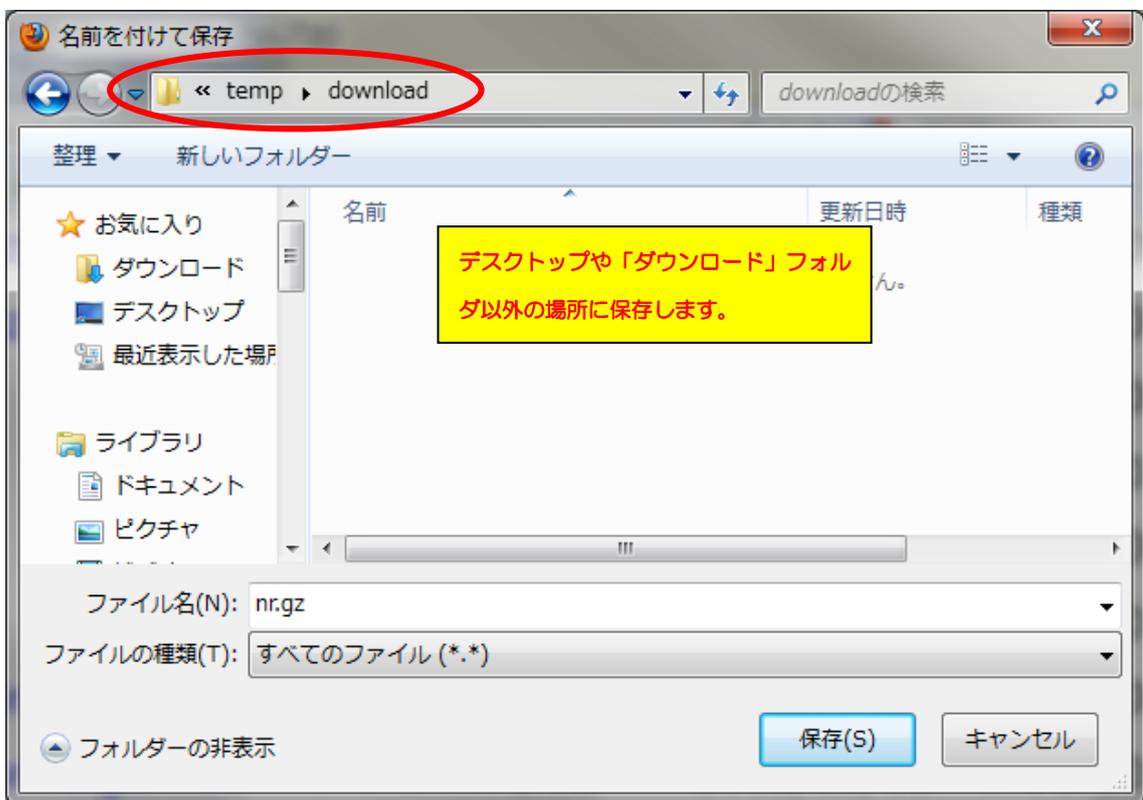
<ftp://ftp.ncbi.nih.gov/pub/taxonomy/>

にある、「**taxdump.tar.gz**」ファイル

\*各操作で一度でもデスクトップやマイドキュメント、各ユーザーの download フォルダなど、使用ユーザー固有のセキュリティ権限に設定されているフォルダにファイルを置いてしまうと、ファイルセキュリティ権限の問題で MASCOT における検索が正常に動作しない事があります。ダウンロードの際も必ずデス

クトップ等避け、C:\temp\download や C:\inetpub\mascot\mskk\download など、セキュリティに問題が出ないフォルダを指定するようにしてください。

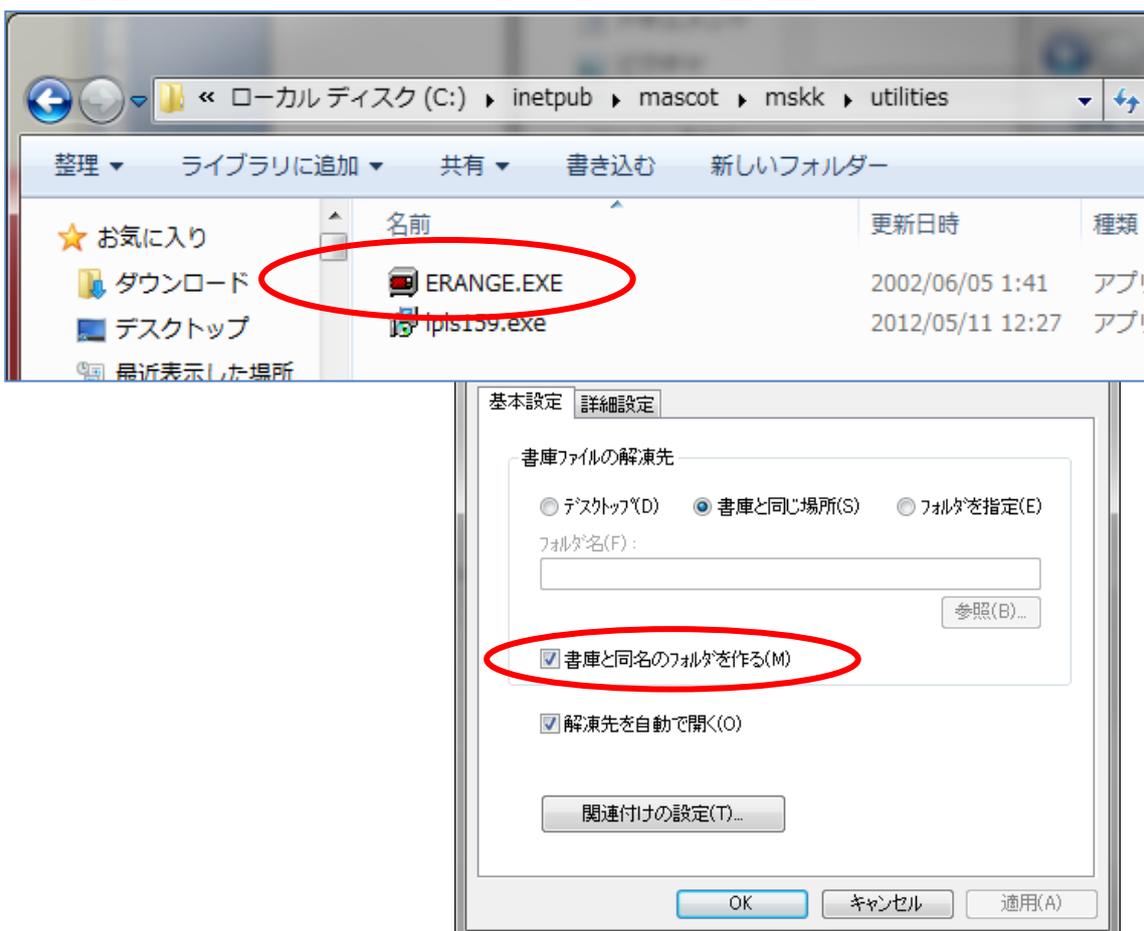
【ブラウザ操作によるファイルダウンロード操作例】



## □ ファイル解凍

ダウンロードしたファイルを解凍します。圧縮形式「gz」はWindowsの標準機能で解凍する事ができません。解凍を行うソフトウェアをお持ちの場合それをお試しください。弊社も手軽に使用できる解凍ソフトを準備しておりますので、以下そのソフトウェアを使った操作例を記します。

MASCOT の mskk フォルダ、または インストール DVD 内に入っている解凍プログラム「**ERANGE.EXE**」（インストール不要、インターネットから取得する場合 <http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se094501.html>）をダブルクリックして、「書庫名と同名のフォルダを作る」にチェックを入れてください（例：下図）。

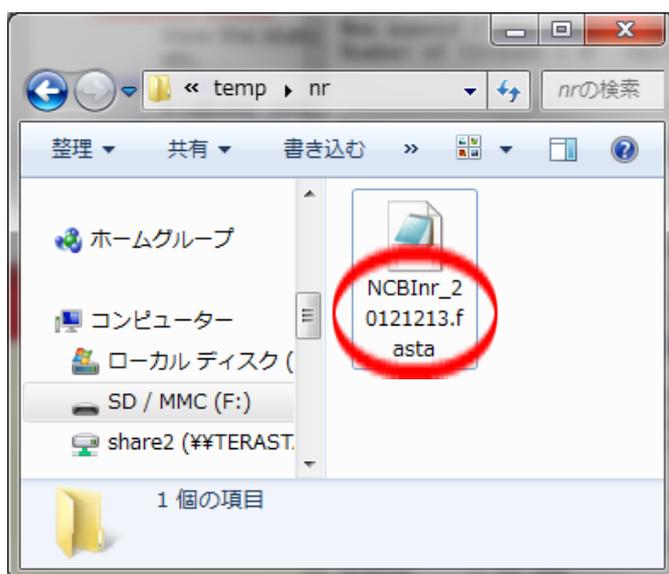


圧縮ファイルを「ERANGE.EXE」にドラッグ&ドロップで重ねるだけで解凍が開始し、ファイルと同名のフォルダが作成されます。フォルダ内に解凍ファイルが作成されます。

## □ ファイル名の変更

解凍して得られたファイルのうち、「nr」フォルダ内の「nr」ファイルの名称を nr から「**NCBI**nr\_yyyymmdd.fasta」に変更します。

\* yyyymmdd 部分はダウンロードした日付です。例)2012年12月17日→20121217



## □ ファイルの移動

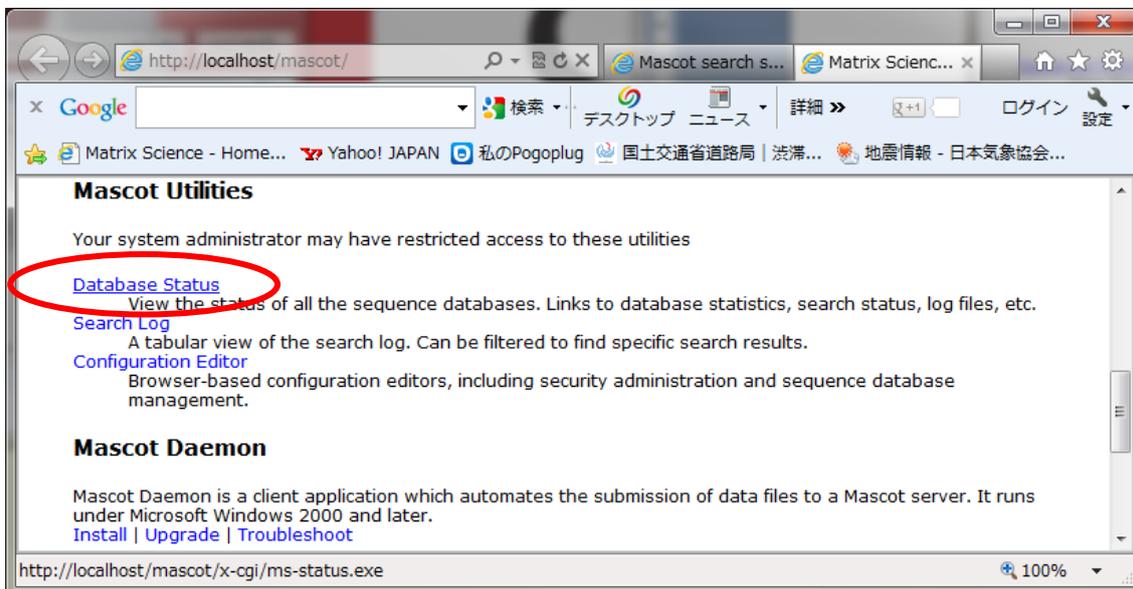
展開して得られたファイルを以下のフォルダへ移動します。

ファイル	移動先のフォルダ
「taxdump」フォルダ内複数ファイルすべてと「gi_taxid_prot.dmp」フォルダ内の「gi_taxid_prot.dmp」ファイル	C:\inetpub\mascot\taxonomy
NCBIInr_yyyymmdd.fasta	C:\inetpub\mascot\sequence\NCBIInr\current

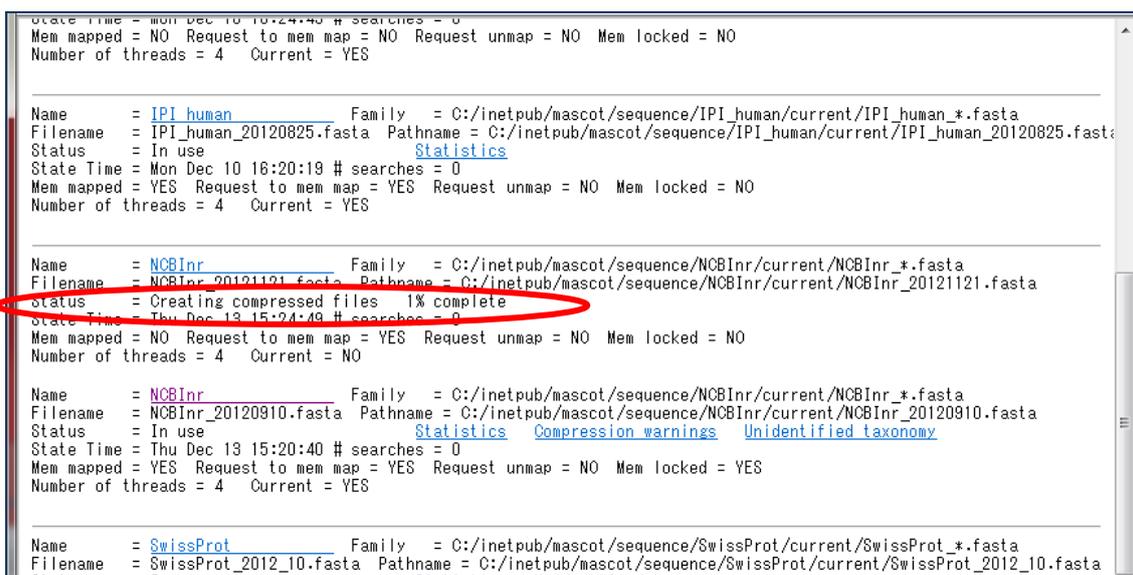
taxonomy フォルダへカット&ペーストしたファイルは上書き保存するか尋ねられると思いますが、「はい」を選択し上書きしてください。

## □ Database Status での確認

Web browser で Home → Database Status を開きます。



以下のように、一連の作業で current フォルダに置いた NCBIInr のデータベースファイルが MASCOT に認識され、データベースの構築中(Creating compressed files N% complete)になっていればOKです。「Status」項目が “In Use”になれば構築が完了です。In Use になるまでの時間は環境により変わりますが、30 分～1 時間 程度とお考えください。



## ● SwissProt 手動更新

### □ ファイル取得

始めに以下の**5つ**のファイルを WEB ブラウザ等でダウンロードします。ダウンロード先はデスクトップにせず、C:\temp\download 等のフォルダを作成しそこへ直接ダウンロードするようにしてください。

【FASTA】

[ftp://ftp.ebi.ac.uk/pub/databases/uniprot/current\\_release/knowledgebase/complete/](ftp://ftp.ebi.ac.uk/pub/databases/uniprot/current_release/knowledgebase/complete/)

にある「**uniprot\_sprot.fasta.gz**」ファイル

【dat】

[ftp://ftp.ebi.ac.uk/pub/databases/uniprot/current\\_release/knowledgebase/complete/](ftp://ftp.ebi.ac.uk/pub/databases/uniprot/current_release/knowledgebase/complete/)

にある、「**uniprot\_sprot.dat.gz**」ファイル

【nam】

[ftp://ftp.ebi.ac.uk/pub/databases/uniprot/current\\_release/knowledgebase/complete/](ftp://ftp.ebi.ac.uk/pub/databases/uniprot/current_release/knowledgebase/complete/)

にある、「**reldate.txt**」ファイル

【taxonomy 1】

<ftp://ftp.ncbi.nih.gov/pub/taxonomy/>

にある、「**taxdump.tar.gz**」ファイル

【taxonomy 2】

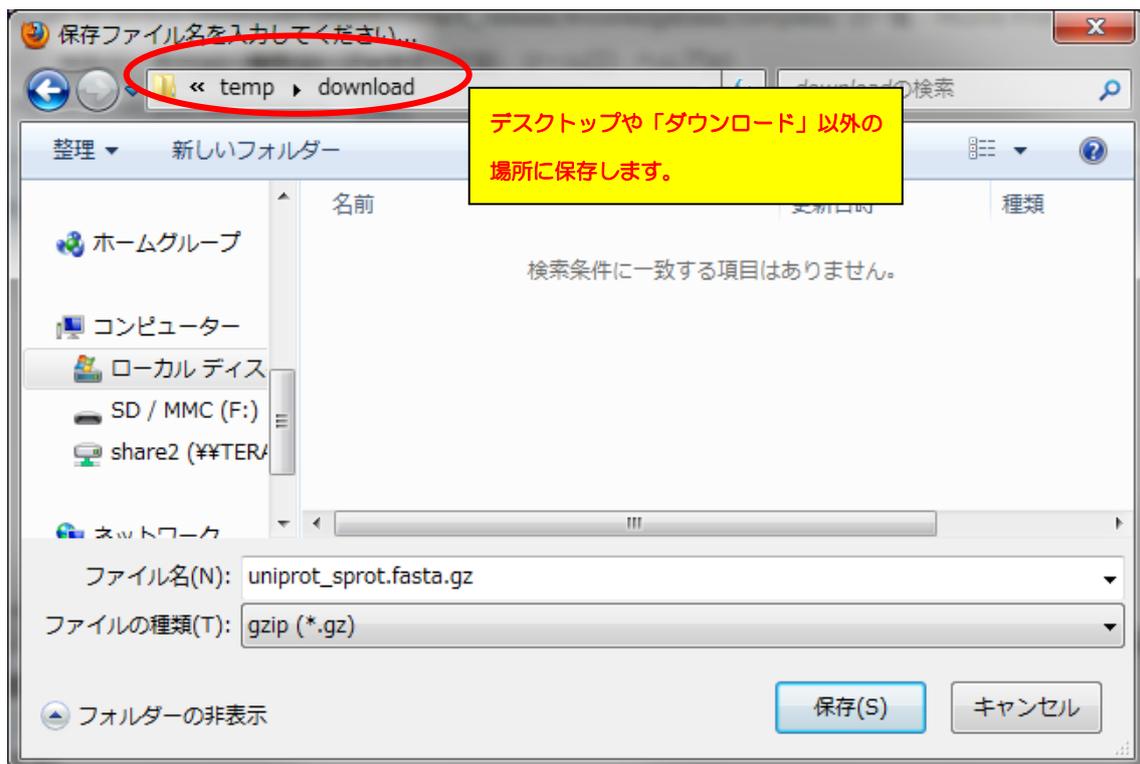
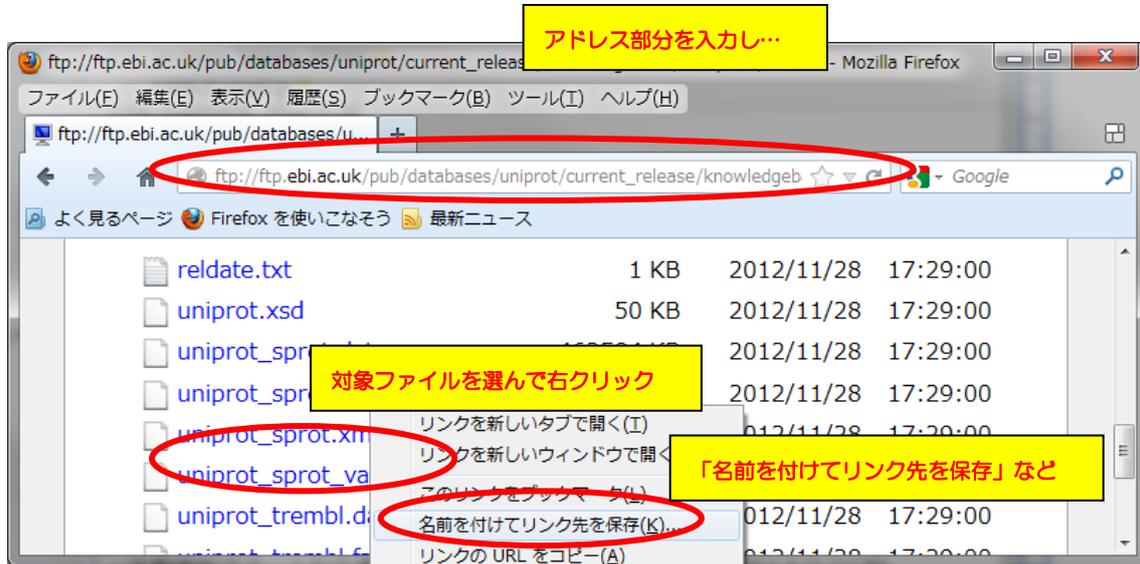
<http://www.matrixscience.com/downloads/speclist.txt>

にある、「**speclist.txt**」ファイル

**\* 上記 URL をそのまま入力し、web browser で開いたページをファイル保存します。**

**\* 各操作で一度でもデスクトップやマイドキュメント、各ユーザーの download フォルダなど、使用ユーザー固有のセキュリティ権限に設定されているフォルダにファイルを置いてしまうと、ファイルセキュリティ権限の問題で MASCOT における検索が正常に動作しない事があります。ダウンロードの際も必ずデスクトップ等避け、C:\temp\download や C:\inetpub\mascot\mskk\download など、セキュリティに問題が出ないフォルダを指定するようにしてください。**

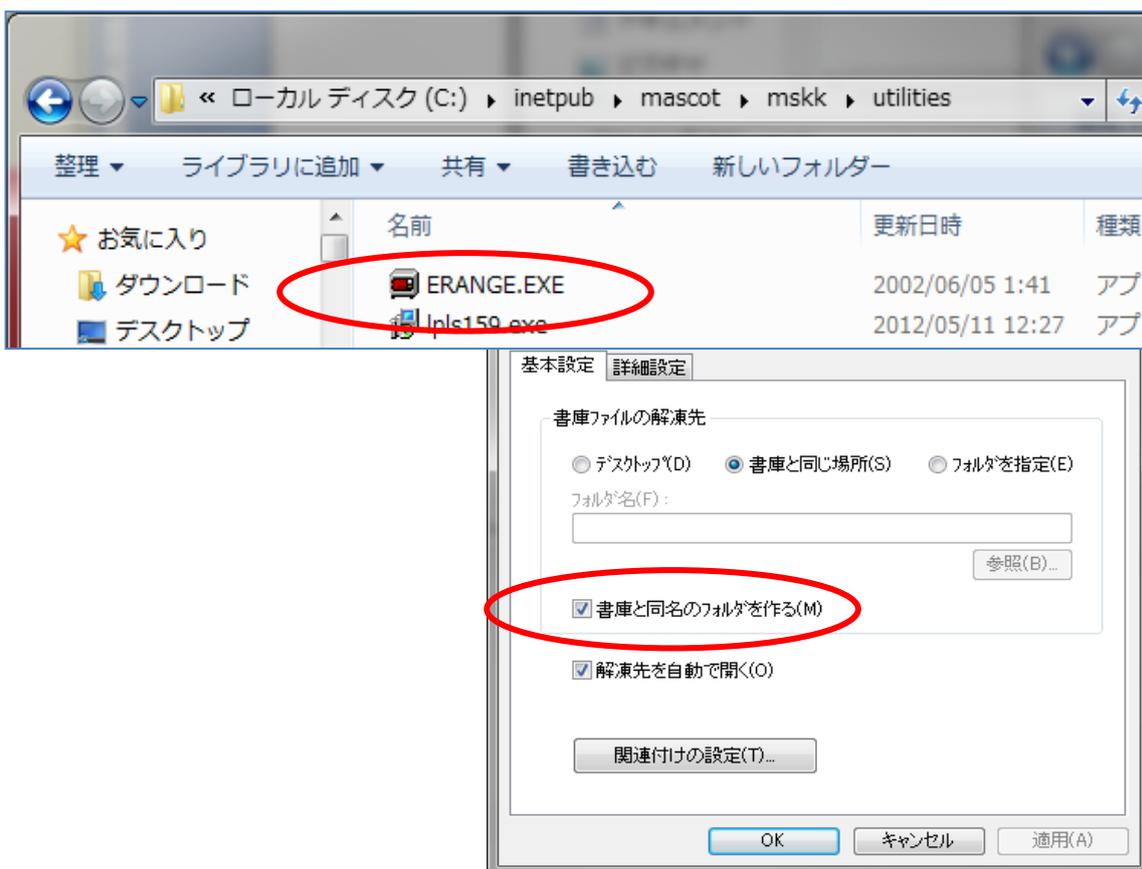
【ブラウザ操作によるファイルダウンロード例】



## □ ファイル解凍

ダウンロードしたファイルを解凍します。ただし解凍が必要なのは、5 ファイルのうち「uniprot\_sprot.fsata.gz」、「uniprot\_sprot.dat.gz」「taxdump.tar.gz」の3つで、後の二つは解凍する必要はありません。また、圧縮形式「gz」は Windows の標準機能で解凍することができません。解凍を行うソフトウェアをお持ちの場合それをお試しください。弊社も手軽に使用できる解凍ソフトを準備しておりますので、以下そのソフトウェアを使った操作例を記します。

MASCOT の mskk フォルダ、または インストール DVD 内に入っている解凍プログラム「**ERANGE.EXE**」（インストール不要、インターネットから取得する場合 <http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se094501.html>）をダブルクリックして、「書庫名と同名のフォルダを作る」にチェックを入れてください（例：下図）。

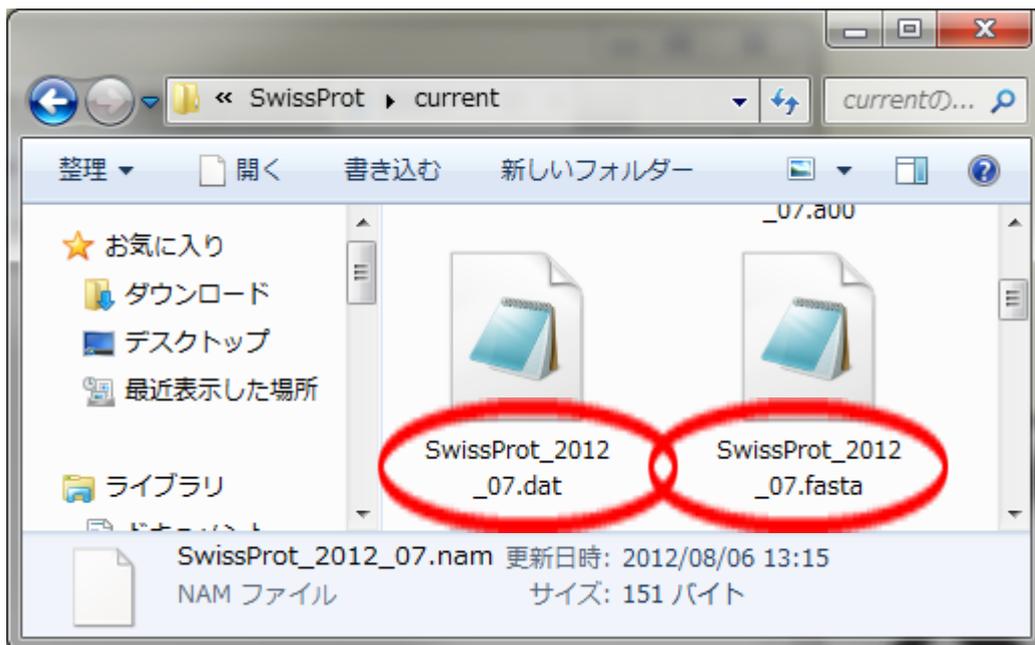


圧縮ファイルを「ERANGE.EXE」にドラッグ&ドロップで重ねるだけで解凍が開始し、ファイルと同じフォルダに回答ファイルと同名のフォルダが作成されます。

## □ ファイル名の変更

ファイルのうち、以下の3つのファイルの名称を変更してください。

- 「uniprot\_sprot.fsata」フォルダ内の「**uniprot\_sprot.fsata**」ファイル  
→ **SwissProt\_YYYY\_MM.fsata**  
\* YYYY\_MM 部分はダウンロードした年と月。例) 2012\_12 →2012年8月
- 「uniprot\_sprot.dat」フォルダ内の「**uniprot\_sprot.dat**」ファイル  
→ **SwissProt\_YYYY\_MM.dat**
- 「**reldate.txt**」ファイル  
→ **SwissProt\_YYYY\_MM.nam**



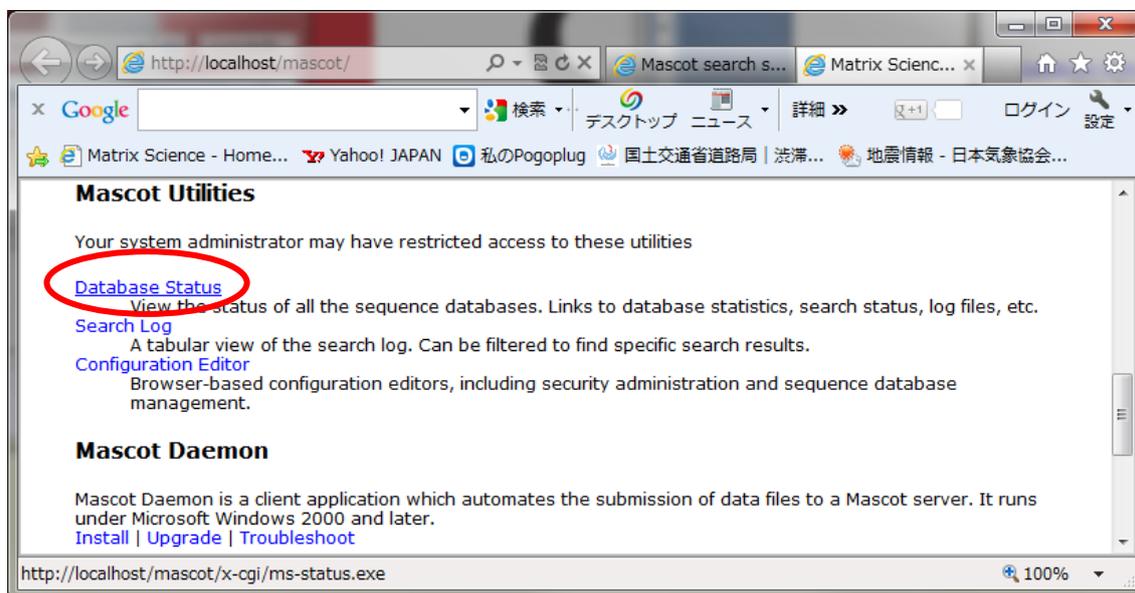
## □ ファイルの移動

展開して得られたファイルを以下のフォルダへ移動します。taxonomy フォルダへカット＆ペーストしたファイルは上書き保存するか尋ねられると思いますが、「はい」を選択し上書きしてください。

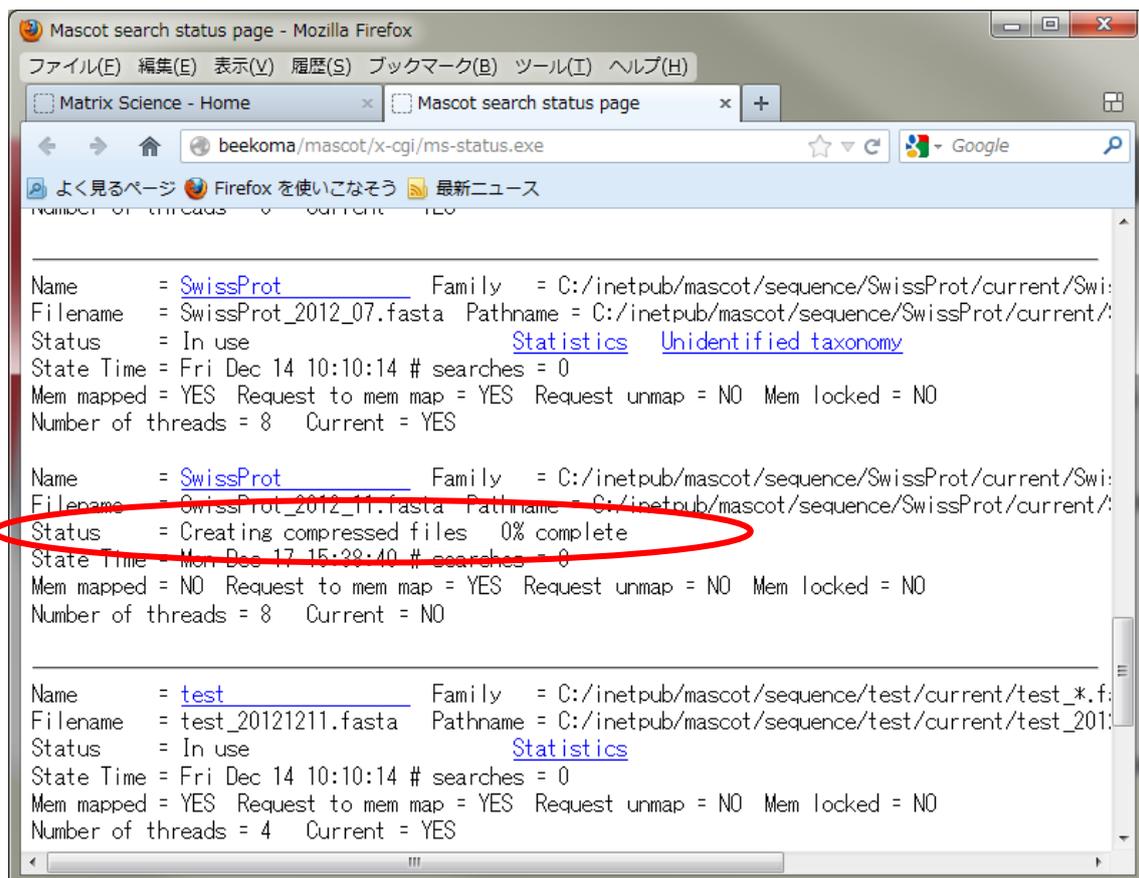
ファイル	移動先のフォルダ
「taxdump」フォルダ内複数ファイルすべて と「speclist.txt」ファイル	C:\inetpub\mascot\taxonomy
SwissProt_YYYY_MM.fsata SwissProt_YYYY_MM.dat SwissProt_YYYY_MM.nam	C:\inetpub\mascot\sequence\SwissProt\current

## □ Database Status での確認

Web browser で Home → Database Status を開きます。



以下のように、一連の作業で current フォルダに置いた SwissProt のデータベースファイルが MASCOT に認識され、データベースの構築中(Creating compressed files N% complete)になっていればOKです。「Status」項目が “In Use”になれば構築が完了です。In Use になるまでの時間は環境により変わりますが、10分~25分程度とお考えください。



## ● 技術サポート

アップグレードに関してご質問等ありましたら弊社技術サポートにご連絡ください。

電子メール : support-jp@matrixscience.com

電話 : 03-5807-7897      ファックス : 03-5807-7896